



ポイント

府中家具の技術で宝飾品ケースを開発し国内外の高級品市場へ展開！

- 技術ブランドを活かして、宝飾品メーカーや高級時計メーカー等をターゲットにした宝飾品ケースを開発
- 府中家具の伝統技術に、「曲面仕上げ」「精密加工」の機械加工技術を加えて新商品を開発
- 京漆の技術に加え、ポリエステル樹脂を用いて漆塗りのように何層も重ね塗りを行う鏡面仕上げ等を導入

企業基本情報

所在地	広島県府中市広谷町 953
電話/FAX	0847-45-3621/0847-45-3046
URL	http://www.matsuso.com/
代表者	代表取締役 松岡 佳二
設立 (創業)	1977年 1855年
資本金	3,000万円
従業員数	50人



会社概要

日本の伝統技術である指物の技を生かし、江戸時代より筆筒を製造してきた老舗メーカー。

その特徴は、原木からの乾燥・製材を行い、何年も寝かせることで狂いを省く、製材から自社一貫で行う生産体制にある。さらには、極め上げた京漆の技術に加え、ポリエステル樹脂を用いて漆塗りのように何層も重ね塗りを行う鏡面仕上げ等を導入して、他社の追随を許さない最高級品の家具類を提供するメーカーである。



会社外観

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

▶▶▶ 日本の伝統工芸に興味を持つ海外富裕者層をターゲットに新商品を展開

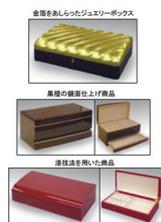
同社では、第25回国際宝飾展に出展し、海外のバイヤーを含む複数の企業と商談、成約に至っており、市場ニーズの手応えを得ている。海外市場のニーズには、単なる高級品を望むだけでなく、日本の伝統工芸に興味を持つ富裕者層が多くいることが背景となっており、これらの富裕層を獲得するため、高級ジュエリーボックスの開発と販路開拓を通じて、市場拡大を狙っている。



国際宝飾展へ出展

▶▶▶ 「塗り」の技術を活かしてジュエリーボックスを開発

伝統的な漆を活用したものや、ポリエステル樹脂を重ね塗りし、研磨を行う鏡面仕上げ等、府中家具の特徴の一つである「塗り」の技術を活かして、高級家具メーカーならではの特徴を持たせたジュエリーボックスを開発してきた。その他にも、府中家具の得意とする、ツキ板の加工技術や、「曲面仕上げ」「精密加工」の技術もフルに活用し、宝飾品メーカーや高級宝飾品メーカーをターゲットとする新商品を打ち出した。



プレミアムライン商品

▶▶▶ 伝統的な技法と新しい技術の組み合わせ

材料を原木より仕入れ、製材・乾燥を自社管理で行うことで、高級材質を確保しつつ、箱物・棚物・脚物といった家具全般の製造を行ってきた。

家具製造技術を活かした上に、特徴を際立たせる塗装においては、従来の漆と比べて光沢を長く保たせる独自の色漆を作りだすだけでなく、ポリエステル樹脂を重ね塗りし、研磨を行うことで、木目に深みと高級感を増す仕上げ（鏡面仕上げ等）を加えることで、新たな特徴を出し、船舶内装や宝飾品ケースといった新しい市場の開拓につなげてきた。



伝統技術との融合